

俳句サロン 令和七年

「秋」



ひよどりの声を聞きつつ本閉じる
晩秋や姫路の街を天守より

雅俊
晴代

「冬」



冬立つ日敬老パスと診察券

晴代

暦はぐ師走の夢はいかならん
年用意ばちばちはじむ好天日

雅俊
晴代